

厚生労働省：総括表

1. 政策にかかるコスト

(単位：百万円)

区 分	コスト計 (A)=(a)+(b)+(c)		内 訳									(参考) 自己収入
			I 人にかかるコスト			II 物にかかるコスト(庁舎等を含む)			III 事業コスト(その他事業コストを含む)			
			(a)	(a)/(A)	(b)	(b)/(A)	(c)	(c)/(A)				
1.「安心・信頼してかかれる医療の確保と国民の健康づくりを推進すること」にかかるコストの状況	16,292,890	22.2%	43,336	15.1%	(0.3%)	3,529	8.9%	(0.0%)	16,246,024	22.2%	(99.7%)	7,328,997
2.「安心・快適な生活環境づくりを衛生的観点から推進すること」にかかるコストの状況	102,476	0.1%	10,168	3.5%	(9.9%)	812	2.1%	(0.8%)	91,495	0.1%	(89.3%)	-
3.「労働者が安心して快適に働くことができる環境を整備すること」にかかるコストの状況	851,193	1.2%	44,939	15.7%	(5.3%)	4,917	12.4%	(0.6%)	801,336	1.1%	(94.1%)	985,715
4.「経済・社会の変化に伴い多様な働き方が求められる労働市場において労働者の職業の安定を図ること」にかかるコストの状況	2,588,171	3.5%	120,269	41.9%	(4.6%)	4,572	11.5%	(0.2%)	2,463,329	3.4%	(95.2%)	2,246,367
5.「労働者の職業能力の開発及び向上を図るとともに、その能力を十分に発揮できるような環境整備をすること」にかかるコストの状況	377,484	0.5%	1,047	0.4%	(0.3%)	201	0.5%	(0.1%)	376,235	0.5%	(99.7%)	99,123
6.「男女がともに能力を発揮し、安心して子どもを産み育てることを可能にする社会づくりを推進すること」にかかるコストの状況	2,818,100	3.8%	3,294	1.1%	(0.1%)	882	2.2%	(0.0%)	2,813,923	3.8%	(99.9%)	244,338
7.「利用者の視点に立った質の高い福祉サービスの提供等を図ること」にかかるコストの状況	2,635,235	3.6%	3,443	1.2%	(0.1%)	661	1.7%	(0.0%)	2,631,131	3.6%	(99.8%)	-
8.「障害のある人も障害のない人も地域でともに生活し、活動する社会づくりを推進すること」にかかるコストの状況	1,077,185	1.5%	7,169	2.5%	(0.7%)	685	1.7%	(0.1%)	1,069,330	1.5%	(99.3%)	20
9.「高齢者ができる限り自立し、生きがいを持ち、安心して暮らせる社会づくりを推進すること」にかかるコストの状況	46,591,376	63.4%	5,697	2.0%	(0.0%)	2,890	7.3%	(0.0%)	46,582,788	63.7%	(100.0%)	28,268,687
10.「国際化時代にふさわしい厚生労働行政を推進すること」にかかるコストの状況	17,055	0.0%	1,270	0.4%	(7.4%)	243	0.6%	(1.4%)	15,540	0.0%	(91.1%)	-
11.「国民生活の向上に関わる科学技術の振興を図ること」にかかるコストの状況	68,265	0.1%	6,278	2.2%	(9.2%)	567	1.4%	(0.8%)	61,419	0.1%	(90.0%)	-
官房経費等	59,436	0.1%	39,808	13.9%	(67.0%)	19,628	49.6%	(33.0%)	-	-	-	-
合 計	73,478,872	100.0%	286,723	100.0%	(0.4%)	39,591	100.0%	(0.1%)	73,152,556	100.0%	(99.6%)	39,173,249

2. 参考情報

各政策に配分した官房経費等の額

(単位：百万円)

区 分	コスト計 (A)=(a)+(b)+(c)		内 訳								
			I 人にかかるコスト			II 物にかかるコスト(庁舎等を含む)			III 事業コスト(その他事業コストを含む)		
			(a)	(a)/(A)	(b)	(b)/(A)	(c)	(c)/(A)			
1.「安心・信頼してかかれる医療の確保と国民の健康づくりを推進すること」にかかるコストの状況	12,407	20.9%	5,174	13.0%	(41.7%)	7,232	36.8%	(58.3%)	-	-	-
2.「安心・快適な生活環境づくりを衛生的観点から推進すること」にかかるコストの状況	3,468	5.8%	1,444	3.6%	(41.6%)	2,024	10.3%	(58.4%)	-	-	-
3.「労働者が安心して快適に働くことができる環境を整備すること」にかかるコストの状況	4,355	7.3%	3,276	8.2%	(75.2%)	1,079	5.5%	(24.8%)	-	-	-
4.「経済・社会の変化に伴い多様な働き方が求められる労働市場において労働者の職業の安定を図ること」にかかるコストの状況	24,547	41.3%	22,364	56.2%	(91.1%)	2,182	11.1%	(8.9%)	-	-	-
5.「労働者の職業能力の開発及び向上を図るとともに、その能力を十分に発揮できるような環境整備をすること」にかかるコストの状況	628	1.1%	403	1.0%	(64.2%)	225	1.1%	(35.8%)	-	-	-
6.「男女がともに能力を発揮し、安心して子どもを産み育てることを可能にする社会づくりを推進すること」にかかるコストの状況	1,678	2.8%	1,064	2.7%	(63.4%)	613	3.1%	(36.5%)	-	-	-
7.「利用者の視点に立った質の高い福祉サービスの提供等を図ること」にかかるコストの状況	2,064	3.5%	1,324	3.3%	(64.1%)	739	3.8%	(35.8%)	-	-	-
8.「障害のある人も障害のない人も地域でともに生活し、活動する社会づくりを推進すること」にかかるコストの状況	4,408	7.4%	1,773	4.5%	(40.2%)	2,634	13.4%	(59.8%)	-	-	-
9.「高齢者ができる限り自立し、生きがいを持ち、安心して暮らせる社会づくりを推進すること」にかかるコストの状況	1,933	3.3%	1,240	3.1%	(64.1%)	692	3.5%	(35.8%)	-	-	-
10.「国際化時代にふさわしい厚生労働行政を推進すること」にかかるコストの状況	761	1.3%	488	1.2%	(64.1%)	272	1.4%	(35.7%)	-	-	-
11.「国民生活の向上に関わる科学技術の振興を図ること」にかかるコストの状況	3,129	5.3%	1,217	3.1%	(38.9%)	1,911	9.7%	(61.1%)	-	-	-
官房経費等	53	0.1%	34	0.1%	(64.2%)	19	0.1%	(35.8%)	-	-	-
合 計	59,436	100.0%	39,808	100.0%	(67.0%)	19,628	100.0%	(33.0%)	-	-	-